

令和 8 年度 観光危機管理体制構築支援事業

災害時観光客一時避難及び帰宅支援運営訓練 企画・実施業務企画提案コンペティション 質問一覧

No.	質問	回答
(1) 応募要項に関する内容		
1	なし	
(2) 仕様書に関する内容		
1	「疑似体験」とありますが、この「疑似体験」はどのようなイメージですか？ ワークショップ、図上訓練シミュレーション、体を動かすものか、映像媒体を活用したものか、それ以外等、いかがでしょうか？	<p>・「疑似体験」は、帰宅困難者が災害時直面する課題・問題に対して訓練参加者がどのように対応していくかを実際に体験することで、訓練参加者自身の BCP 計画の見直し・改善に活かしてもらうことを目的としている。その体験方法については、ロールプレイ方式、映像、ワークショップ等も含め、最も効果的であると考えるアイデアを自由にご提案ください。</p> <p>参考：R7 図上訓練</p>
2	観光施設・ホテルでの発災前の安全対策は研修範囲に入りますか？	<p>・入りません。「3.委託業務内容 (1) 訓練の企画」に記載の通り、帰宅困難者の対応および帰宅支援対策の運用検討を主としている。よって、訓練参加者の事業所 BCP 計画は整備済を前提とします。</p>
3	ア) 内に記載のある「被災した場所」とは各事業者が管理運営している場所ですか？	<p>・「被災した場所」とは訓練参加者 (各事業者・自治体等) が管理運営する場所、施設 (宿泊施設、観光施設、ビーチ等)、観光客の行動特性に応じて想定されるあらゆる被災場所が対象となります。</p> <p>疑似体験においては、各参加者が実際に管理運営している施設・場所において検討する方法、参加者全員が特定の共通する 1 か所の被災場所を事例に検討する方法など、最も効果的であると考えられるケースで自由に想定ください。</p>
4	イ) 内に記載のある「一時避難場所」はどこを示していますか？ ※屋外か、屋内か	<p>・災害設定 (地震や津波等) に応じた一時避難場所 (屋内外問わず安全を確保できる場所) を想定しています。</p> <p>疑似体験においては、各参加者が実際に管理運営している施設・場所において検討する方法、参加者全員が特定の共通する 1 か所の一時避難場所を事例に検討する方法など、最も効果的であると考えられるケースで自由に想定ください。</p>
5	ウ) 内に記載のある「各避難所 (一時避所含む) の「一時避難所」はどこを示していますか？ ホテル、観光施設を含んでいますか？	<p>・はい、ホテル、観光施設等も可能性として含まれます。市町村の指定避難所で受け入れが叶わない場合、一時避難所がそのまま避難所として使用されることも想定し、「各避難所 (一時避難所含む)」と表記しています。</p>

3.4.5		<p>なお、訓練の流れ、疑似体験内容、想定するモデルケース等の詳細は受託決定事業者と調整いたします。今回の企画提案時において、「被災した場所、一時避難所」等の詳細まで提案いただく必要はございません。屋内外問わず、観光客が被災しうるあらゆる場所、一時避難所がケースとして想定される中、帰宅支援の一連の流れをシミュレーションできる体験、訓練を求めています。</p>
6	ウ) 内に記載のある「トリアージ」は誰がどの程度、扱うことを前提としていますか？	<p>・「トリアージ」とは、『第2次沖縄県観光危機管理計画』P37⑤における「帰宅優先順位付け」のことを指す。よって、対応者・内容については、同計画に基づくものとします。</p> <p>参考：第2次沖縄県観光危機管理計画</p>
7	訓練当日に参加者へ配布する資料等の印刷は、受託者が実施し、その費用は予算見積書に含めるという理解でよろしいでしょうか。	<p>・はい、ご認識のとおりです。</p>
8	参加対象者は、沖縄本島以外の方も対象となりますでしょうか。	<p>・はい、沖縄本島以外の離島市町村や観光協会等へも開催案内致します。</p>
(3) その他全般についての質問		
1	なし	

以上